

会員数	40,374	(前月比)	+	1
郵送	8,923	(前月比)	-	62
手配り	28,123	(前月比)	-	79
協同基金到達額	2,567,352,000円(5/31現在)			
	[前月比 10,850,000減]			
協同基金出資者数	21,415名(5/31現在)			
いのちを守る助け合い募金額	2,162円(5/1~31)			



発行
健康友の会 みみはら
民医連
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860
1部30円

健康友の会みみはら第35回総代会

日々大きく変化する情勢や方針を学び、 力強い友の会の組織づくりを



5月28日、健康友の会みみはら第35回総代会が、代表世話人・代議員・来賓・オブザーバー、総勢106人の出席のもと、行われました。2020年・2021年と新型コロナウイルスの影響で開催できず、3年ぶりとなった総代会は、密を避けるため、5カ所の会場をWEBでつなぐ方法で開催しました。

定刻となり、森島副会長が開会を宣言。議長に安井支部・浅井代議員と総合病院・石田次長を、資格審査に土師東深井支部・横田代議員を選出し、進行しました。

主催者を代表した江戸会長 合わせて取り組みを継続しての挨拶では、「未だ新型コロナウイルスによる困難な状況が続く中ではあるものの、代表世話人・総代をはじめといたすすべての会員が、この2年間、力を

合わせた取り組みを継続してきたことが、今回の総会の開催につながった」と報告されました。

その後、来賓の大阪みなみ医療福祉生活協同組合の和田常務理事から連帯の挨拶を、新しく同仁会の専務理事となった森専務理事からは、情勢と合わせ、コロナ禍での各事業所の状況と債務超過解消を実現したことが報告がされました。



挨拶する江戸会長

各会場をWEBでつないで開催

篠原事務局長の「2021年度総括と2022年度方針の提案」では、「この2年間、新型コロナウイルスの感染拡大で、たまり場休止や企画の中止など、活動の自粛を余儀なくされた。そんな中でも、友の会のつながりを大切にしたい」「防護エプロン・マスク作り」「お元気ですか対話・訪問」「理事長の支部・たまり場訪問」「友の会ワクチン」「こども食堂」など、全国にも誇れる取り組みをすすめられたことが、大きな成果・財産となっている。2022年度は、憲法をくらしに生かす学習活動、安心して住み続けられるまちづくりとして



議長の浅井さん(右)と石田次長

くらしに生かす学習活動、安心して住み続けられるまちづくりとして



オンラインの参加者



採択をとる鳳会場

この後、議案を各会場で採択し、賛成多数で承認。新役員体制と総代会アピールも、拍手で確認しました。

閉会にあたって、新しく副会長となった建井代表世話人が挨拶し、「力を合わせて頑張りましょう」と締めくくりました。

これを受けた討論では、①東西支部・安井支部・もず支部での、80歳以上会員のほとんどに連絡した「お元気ですか電話」、②全日本民医連表彰を受けた鳳支部の「こども食堂」、③南花田支部・新金岡支部合同の「子どもたちを笑顔にするプロジェクト」と「メリアガーデン(畑での野菜づくり)」、④鳳クリニックの「コロナ禍での医療活動と建替えに向けた取り組み開始」の報告で議案を深めました。

くりとして「お元気がどうか対話・訪問」を柱に、友の会結成40周年となる2024年に向けて、「担い手ふやし」に焦点をあて、「10万人の組織」実現に向けた取り組みをすすめることが提案

聴診器

「これは戦争ではなく、殺人だ」と叫ぶウクライナ男性。まったくその通り。ロシア軍隊は、病院と分かっているミサイル攻撃、女性や子どもへの攻撃。これらは明らかに国際法違反で、「法」は「紛争地等で赤十字マークを掲げている病院や救護員などには、絶対に攻撃を加えてはならない」と定めていいます。当然ながら、国際的に非難の声が続々▼ウクライナの中央には「ドニプロ川」(ドニエプル川)があり、北はキエフ付近から、南は黒海まで流れる大河。この川を謳った曲が多いのは、心の拠り所でもあったのかと思います。その一つに「ドニエプルの嵐」があり、戦後、「うたごえは平和の力」をスローガンに「うたごえ運動」が広がったとき、この曲もよく歌われました▼ウクライナは肥沃な土地で、小麦の生産量が「世界第5位」は最近知りました。一方、テレビに映し出される街並は緑豊かですが、その背景にはミサイル攻撃を受けた建物が見え隠れします▼ロシア軍隊の蛮行は目に余る。異議があるなら、外交によって解決すべきです。ウクライナへの軍事侵攻が始まって4カ月を超えます。「悪貨に良貨が駆逐」されるわけにはいきません。我が家も、青と黄の厚紙に「戦争反対・平和を」と書いて柵に掛けています。(八田兄二)